

学校関係者評価結果 (2018年度)

(2019.5.25)

学校法人川原学園
東京動物専門学校

はじめに

専修学校の学校評価は、2007(平成19)年の学校教育法及び同施行規則の改正により、①自己評価の実施・結果の公表に関する義務、及び②学校関係者評価の義務・結果の公表に関する努力義務が課されています。

東京動物専門学校は、2014(平成26)年3月に文部科学大臣より「職業実践専門課程」の認定を受け、毎年「学校関係者評価委員会」を開催し、その結果を本学ホームページなどに公表しております。

今後とも、学校関係者評価委員会からのご意見、ご指導を頂きながら、その評価を具体的かつ明確な目標等を設定・実行し、次に、それらを自ら評価し、社会への責任説明を果たすと共に、専門学校教育の質の向上を目指します。そこで、ここに2019年5月に開催された「学校関係者評価委員会」での評価結果を公表いたします。

学校関係者評価

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1
・理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・ 保護者等に周知されているか	④	3	2	1
・教育目標、育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけ られているか	4	③	2	1

①取り組み及び課題

東京動物専門学校は、1987年の開校以来「心・知・技・体」であり、保護者アンケートの結果からも高い支持を得ており、継続する。動物飼育管理技術者の養成に特化した専門学校で、卒業生の就職先は動物園・水族館、観光牧場、畜産、愛玩動物等、動物関連で業種は幅広い。開校以来31年が経過し、取りまく環境は大きく変化しているが、動物飼育に関する基本姿勢は維持しつつ、学校の理念・目的等は現状のままとする。

②今後の改善方策

就職先が様々な業種であり、飼育対象とする動物、飼養目的等も多岐であるが、専門学校の特色である即戦力となる人材育成を目指すカリキュラムを実施する。なお、単に動物が好きだからとの志望動機で入学する学生もいるため、就職への正確な動機付けのため入学早々、動物園・水族館を専門家と共に、開園から閉園まで、一日中見学する特別授業も4年前より始めており、その成果の検証も必要と思われる。

③学校関係者評価委員よりのご意見

東京動物専門学校に入学してくる学生にとって、動物飼育管理技術者その内でも、特に動物園・水族館への就職は憧れであり、その夢を実現させられる教育を望む。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	④	3	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

①取り組み及び課題

学校の校訓・目的にそって毎年事業計画を策定し、年度毎の運営方針も明記し、教職員に周知徹底を計っている。また毎年3月には講師会を開催し、運営方針等を説明し、関係者一体となつての運営を図っている。また1年生対象の上野動物園等を見学する特別授業は、単なる見学ではなく、関連教科との連携を図るため、講師間でも綿密な打ち合わせにて授業を展開している。情報公開は、学校基本情報、自己評価等も学校HPで公開しており、適切である。またITの進展に伴う、業務の簡素化・効率化はまだまだ改善の余地があり、今後の課題ではあるが、このところ入学者も定員を確保し、経営基盤も落ち着いてきており、今年度は非常勤講師の報酬を見直したこともあり、講師の方々の一層の奮起を望む。

②今後の改善方策

情報公開に関しては、HPを活用して実施しているものの、迅速な更新に努める。学校案内冊子も作成しているが、ペーパーレス化社会に対応し、情報発信方法を検討する。また学生数の増加に対応した人材等は補強しているが、学生課職員についての業務分掌を整理し、効率化に努める一方、職員のレベルアップも図る。

③学校関係者評価委員よりのご意見

保護者アンケートで、学校運営に関する設問のうち「保護者の要望に良く応えている」の項目では、70%近くが「良い及びやや良い」の評価であり良好である。しかし、その要望の内容については、様々と想定され、具体的に要望を把握し、改善に結びつけて頂きたい。

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携による職業体験・インターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
・職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確に	④	3	2	1
・飼育実習を指導できる職員は、配置されているか	④	3	2	1
・目標に達しない学生に対する適切な指導がなされているか	④	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

①取り組みと課題

2013年度より学生及び保護者アンケートを実施しており、その結果を講師等にフィードバックし、講義内容や授業の改善、更に、施設等に関する不満等の解消に努めている。また教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会開催により、企業の提言、指導事項、研修先施設等からの評価等を委員会で検討し、職業実践教育に向けたカリキュラムや授業運営に反映させる。職員の研修として、動物園・水族館を視察し、各園館関係者の講話等も拝聴し、日常の指導に反映させると共に、職員自体の自己啓発の一助とする。

②今後の改善方策

アンケート結果については、迅速に結果を関係者に公表し、迅速なる改善に努める。また学生数の増加に伴う飼育実習場での効率的・効果的な実習計画を見直し、改善を図っている。また来年度(2019年度)には実習場講義棟の改善を実施する。

③学校関係者評価委員よりのご意見

TV放映で実習場の様子を直に知れ、非常に大変な作業と思いつつ、やりがいのある楽しい授業であると思いました。内容の充実、学生の技能習得を望みます。

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	3	②	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1
・当世の学生特性を捉えて指導をおこなっているか	4	③	2	1

①取り組みと課題

今年度の就職率も100%で、多くの学生が希望する動物園・水族館には52名が就職できた。しかし、2018年度入学生の1年間の退学者は23名で退学率は15%と高かった。その理由は、進路変更や学業不良等の他、約半数は、内定を受けた学生であった。このことから、通常の見学や説明会などを目指すだけでは、解決しない困難な状況にある。

②今後の改善方策

就職率は100%だが、少しでも希望の就職先に合格できるよう指導を徹底する。また動物分野で新規業種としてふれあい関連の施設が増加しているが、就職先として推薦するには問題のあるような施設も見受けられるので、教職員がそのような現場に赴き、実体を把握し、学生への紹介説明等が十分にできるようにする。また動物園・水族館以外にも飼育の分野は裾が広いことを色々な機会を捉え紹介し、新たな就職先への動機付けになる指導を行う。

③学校関係者評価委員よりのご意見

就職に関し、より詳しい情報提供による指導を望み、特に情報不足の施設の実態把握をお願いしたい。また施設研修についても、安全に且つ効果的な実習ができ、就職に関連したり、実践に役立ち学生にとって有意義な研修となるような、研修先との良好な関係構築をお願いしたい。
授業内容の程度が高く、ついていけないことも考慮し、常に、授業内容について検討をお願いしたい。

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
・学生の生活環境への支援行われているか	④	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1
・学校窓口や電話での対応は、適切に行われているか	4	③	2	1

①取り組みと課題

入学生のレベルアップにより、精神的な「心」の悩みを持つ学生は見られなくなったが、あまりにも「心」優しく、弱い学生がおり、将来動物飼育を目指すには問題があり、適宜指導している。就職指導は、入学と同時に開始し、全体指導、就職窓口での個別指導、施設研修と段階をおい、徹底的に学生の就職を支援する体制を組んでいる。保護者アンケート結果では、保護者と適切に連携しているか等の関連の質問事項について概ね良好との回答を得ている。

②今後の改善方策

学生相談窓口などの学生支援や生活環境への支援対策等の充実を図りたい。
また学生満足度アンケート等を継続的に実施し、意見・要望を聞き出し、その結果を集約し、関係者に公表し、改善に結びつけている。

③学校関係者評価委員よりのご意見

各種アンケートによる意見・要望等について、迅速に対応できるように願いたい。

(6) 教育環境

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・施設・設備や IT 教材は、教育上の必要性に十分対応できるよう整	4	③	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ等について十分教育体制を整備しているか	④	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1
・飼育実習に対応する動物として、種類・頭羽数は確保しているか	④	3	2	1

①取り組みと課題

八千代校舎では、学生机を一新し今までとは一回り大きな机となった。実習施設である富里キャンパスに講義棟を 2018 年末に新築し、快適に講義を受けられる体制は整った。また哺乳類から鳥類、ハ虫類、両生類、魚類まで動物園等で飼育されている大小様々な 250 種余 1500 頭羽余の動物を飼育し、実習に供している。ホワイトタイガーも導入され、大型ネコ科動物の飼育実習ができるようになった。今後は 30 年間に学生と共に造った飼育施設などの老朽化も目立ち、動物福祉を前提としての改築が課題である。

②今後の改善方策

設備のより一層の改善を図り、快適な講義が受講できるようにする。
飼育実習では、動物の種類、飼育数は問題ないが、学生数の増加による、実習体制の見直し、改善は必要であり、様々な飼育管理者の育成を目指す職業実践課程に相応しい内容とする。防災体制では、年 2 回の訓練などを継続実施し、高い水準を目指す。

③学校関係者評価委員よりのご意見

学生数増加による不都合や不便な事項や、経年劣化による施設の改修について、適切な対応を願いたい。また実習場講義棟の新築は、学生にとってよろこばしい事です。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学生募集活動及び入学選考は適正に行われているか	④	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・インターネット上での学校案内のHP更新は適宜行われているか	4	③	2	1

①取り組みと課題

学生募集活動は、インターネットでの学校案内、募集重要事項等の掲載など情報提供ならびに職員が高校に出向き学生への説明や案内を行っている。また学校説明会、授業見学体験入学及び施設見学のオープンキャンパスを、八千代校舎並びに富里飼育実習施設にて実施。課題として、富里施設への公共アクセスがないので、成田駅よりバスで送迎しているが、経費や時間などに、やや課題があることである。

②今後の改善方策

富里実習施設見学にて十分な事前体験が施設的には可能だが、アクセスの改善が必要。多くのテレビ局の取材、放映により、入学希望者がここ数年間は増加し、定員を確保している。しかし中期的に学生の受け入れ確保の保証はない。「職業実践専門課程」認定の専門学校として認知され、更なる差別化による優位性の確保など、高校への浸透策が課題。開校以来31年間に全国各地の動物園・水族館で卒業生が活躍しており、その実績により学校の伝統なるものができつつあり、今後更なる伝統を延ばす活躍を継続する。

③学校関係者評価委員よりのご意見

入学者が定員を確保できるよう学生募集活動を続けてもらいたい。TV効果は、絶大だと思ひ、今後もマスコミ関係者との良好な関係構築を願います。

(8) 財務

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	③	2	1

①取り組みと課題

このところ定員を満たす学生を確保し、基幹収入の主たる納付金である帰属収入で安定した財務状況となっている。ただいつまでもこれが続くとはいえず、設備改善等の投資は慎重にならざるを得ない。会計等の処理については、会計士等の専門家による指導、監査にて適正に処理している。

②今後の改善方策

中長期では少子化により学生数確保は、ますます困難となる。入学者数確保に全力にて努める一方、経費の節約を徹底し、財務の安定を図る。八千代校舎隣接地は芝生による緑化を実施したが、学校祭利用の他に有効活用を図る。

③学校関係者評価委員よりのご意見

安定的な財務運営を図りながらも、施設の充実を願いたい。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

①取り組みと課題

2013年職業実践専門課程の認可を受け、従来からの自己評価結果について学校関係者評価委員会にて学校評価を受け、公表している。また教育課程編成委員会も開催し、ここでは特にカリキュラム内容等を検討し、教育の改善に結びつけている。

②今後の改善方策

職業実践専門課程に基づく各委員会について、より深まった議論が出来るよう委員の協力を得ながら、より現実的で建設的な意見交換の場となるよう努力する。

③学校関係者評価委員よりのご意見

両委員会委員からの意見として、実際のところ学校の実態が分かりにくいことも多少ある。情報提供については、より具体的な内容で実態が少しでも見えるようお願いしたい。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1

①取り組みと課題

9月に3日間、学校祭を八千代校舎で開催し、3日間で1万7千人を超える来場者があり、地域イベントとして定着している。学校祭は、学生が企画立案し、1年生と2年生が一体となり準備・実施するもので、教科学習では習得できない多くの事を学んでいる。今後共地域貢献のみならず、実体験による自己成長の他、学生にとって思い出深いものとなるよう学校祭は継続実施する。

②今後の改善方策

学校祭は、八千代校舎及び校庭で実施しているが、来場者があまりにも多く混雑する。数年前に取得した隣接地も芝生により緑化したが、手狭な感じは否めない。展開内容を今一度検討し、来場者がゆったりと楽しめる工夫が必要である。

③学校関係者評価委員よりのご意見

学校祭の他、富里市主催行事や東葉高速祭りなど動物を伴い、各種行事へ積極的に参加しているが、社会・地域貢献のような活動、例として、東京湾岸の清掃活動など、学生が参加しやすい近隣での奉仕活動があるようなので参加を検討したら如何なものか。